

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様の健やかな成長・晴れの門出心よりお喜びとお祝いを申し上げます。先生方には、コロナ禍・少子化など様々な困難の中で卒業にお導き頂いた事に敬意と感謝を申し上げます。

さて卒業生の皆さん、3年間通った蘇南高校の校舎とも今日でお別れですが皆さんの胸の中には天白台から見た雄大な景色と共に、高校生活での様々な思い出が走馬灯のように蘇っているのではないのでしょうか。今、その思い出を胸に社会に向かって飛び立つ時を迎えました。社会に出れば人生を生きていく上では多少の苦労は付きものですが、その苦労を乗り越えるための術や力を、蘇南高校の3年間で身に付けたはずです。身に着けたことの自信を持って社会に力強くはばたいてたいてくれる事を期待しています。

今、世界の各地で日本の若者達が活躍しています。スポーツ界では野球の大谷選手を筆頭にバスケット、サッカー、ゴルフなど各分野で活躍していますし、去年は音楽界でもクリーピーナッツはじめ日本の楽曲が世界を席卷しました。国内でも将棋の藤井聡太7冠、大相撲の大の里関などのように、これまでの記録を大幅に破る活躍を見せています。彼らのように自分の夢を叶えるために敢えて困難に飛び込んでいく例もありますが、普段の私達の生活の中でも特に長い人生においては、いつかどこかで困難に突き当たります。その困難を乗り越えていく鍵は、実は自分の中にあるということをお忘れではありません。大谷選手はこう言っています、「やれるかやれないではなく、自分次第だ」と。ともすれば自分の中ではじめから諦めてしまったり限界を決めてしまいがちですが、皆さんには困難や壁に立ち向かえるだけの若さ、エネルギー、可能性があります。まずは自分を信じて羽ばたき、羽ばたき続け、時には休んでも羽ばたきを重ねて自分が目指す所、或いは納得できる所へ降り立って下さい。そしてみんなが力をあわせて、これからの日本の明るい未来を築き上げてくれる事を期待しています。

地元市町村長の代表としてひとつだけお願いをしておきます。それは、皆さんの若い力を故郷（ふるさと）のために貸して欲しいということです。方法はそれぞれで構いません。故郷に住むこと、故郷で働くこと、故郷に帰って来ること、或いは故郷に関わること、故郷を思うことでも構いません。今皆さんの故郷は、どの市どの町どの村も若い人の力を必要としています。これからも故郷に繋がっていて下さい。繋がっている限り故郷は皆さんをいつでも応援していきますので、その故郷に皆さんも何かしらの方法で力を寄せて頂けたらとお願いをするものです。

そんなことを胸に刻みながら、そして母校や先生方、お父さんお母さんの姿を臉に焼き付けて、人生の中で最も光り輝く青春時代を突き進んで行って欲しいと思います。本日卒業される全ての皆さんが大いに輝き活躍し、それぞれの人生が花開かんことをお祈りしながらハナムケの言葉と致します。

今日はおめでとう。